

志桜小だより



カラー版を
ご覧ください。

10月号②

宝達志水町立志桜小学校
TEL 29-2052
FAX 29-2069

学校ホームページ <https://cms1.ishikawa-c.ed.jp/shiozze/>
学校メールアドレス web-shio@hodatsushimizu.jp

ホームページは
こちらから

校長 宮下 慶子

- めざす児童像
- 目標をもち 自ら進んで学び よく考える知恵のある子
 - 強く しなやかな心をもち 温かな人間関係をつくれる子
 - 困難に打ちかつ 気力・体力のある子



祝 MOA 宝達志水町児童作品



賞	学年	氏名	作品名
MOA 美術館奨励賞	2	野村 豪真	「さいきょうティラノザウルス」
宝達志水町長賞	1	西川 颯真	「すいかだいすき!!」
宝達志水町教育委員会賞	4	山本 理央	「石崎ほうとう祭」
MOA 議員連盟賞	3	木村 心春	「楽しいね せみにのってピクニック」
金賞	1	伊藤 愛莉	「はなびといっしょに はいちーず」
金賞	4	坂下 渚花	「壊れた会館」
金賞	5	木村 朱里	「もし食べ物が生きていたらの『おにぎりさんたちの家』」
銀賞	5	西川 拓真	「たのしそうにけんばんをひく弟」
銀賞	6	中村 清頼	「夢にみた世界を大ぼうけん」
銅賞	3	野村 怜愛	「かぶと虫とわたし」
銅賞	6	橋本なのは	「道はちがっても心は同じ」
銅賞	6	中本 彩希	「夏休みの宿題」

MOA美術館奨励賞
野村 豪真



宝達志水町長賞
西川 颯真



町教育委員会賞
山本 理央



MOA議員連盟賞
木村 心春



祝 JA 共済・交通安全ポスター・書道コンクール

北國新聞社社長賞(ポスター)	2年	直林 巧真
JA 共済連石川運営委員会会長賞(ポスター)	3年	高平 茜里
金賞(書道 半紙の部)	4年	坂下 渚花
銀賞(ポスター)	3年	土上真利奈
銅賞(書道 条幅の部)	4年	坂下 渚花
銅賞(ポスター)	5年	直林 大悟
佳作(ポスター)	5年	藤井 夢羽

祝 防火(防災)ポスターコンクール

5年生の部 銅賞	西村 駿希
6年生の部 銀賞	佐々木 蘭



蓮華山相撲大会

団体戦、優勝！2位！3位！

10月11日に行われた蓮華山相撲大会に、志桜小学校から団体戦、個人戦に**17名**の選手が出場しました。団体戦は、1～3位独占の大健闘！

学年別個人戦では1年、3年～6年の部で優勝を含め上位入賞を果たすことができました。

出場選手全員の【挑戦】素晴らしい！

大会当日は、たくさんの応援団が駆けつけていました。選手のみなさんの健闘をたたえたいと思います。

よくがんばりました。来年も是非！

団体戦

優勝	志桜 A	菅本 粹聖	大森陽夢羽	樋本 輝
2位	志桜 B	金曾 正宗	桂 叶多	中村清頼
3位	志桜 C	山田陽柁	丸山音愛	

個人戦

1年の部	優勝	井上蒼大	3位	山本あん
3年の部	優勝	金曾 正宗		
4年の部	2位	菅本 粹聖		
5年の部	優勝	桂 叶多	3位	大森陽夢羽
6年の部	優勝	樋本 輝	2位	宮城圭佑

10/18 資源回収

ご協力ありがとうございました。



10月18日、資源回収が行われました。前日までの学校への持ち込みも含め、たくさんの新聞紙、雑誌ダンボールが集まりました。PTAのみな様、地域のみな様ご協力ありがとうございました。



シリーズ 非認知能力

志桜小学校では
子ども達の非認知能力を
大切に考えています。

9歳～
意識時代



『AERA with Kids』(朝日新聞出版)参照。

志桜小学校では、開校とともに子ども達の「非認知能力」をすべての教育活動のベースにと考えています。(子ども達には、上図の様に「3つの力」として伝えていきます。)

今回は、岡山大学准教授 中山芳一氏のコメントの抜粋です。(9月号②でもお伝えしました。)

「…子どもが非認知能力を伸ばすために、大人が働きかけたい部分は、子どもの『**気質**』と『**意識**』です。

それぞれの特性を知って、実践してみましょう。」 「9歳からは、意識時代」です。

「9歳・10歳ごろから、自分の気持ちを意識でコントロールできるようになります。」

下記は、その時代にやるという事です。

やるといいこと3

「家訓」をおく

ここでの家訓は、「親が大切に思っていること」。「子どもにも大切にしてほしいと思うこと」を、家訓として子どもに伝えます。例えば「あいさつをする」「困っている人がいたら手伝う」でもいいですね。それを押しつけるのではなく、「お父さんはこう思うよ」「お母さんはこう思うよ」とく置いておく。拾うか拾わないかは子どもによります。これは、ブレない親の態度を見せることと、価値観の意識づけにもつながります。」

やるといいこと4

「3ポジ1ネガ」

日常的な関わりの中で、ポジティブとネガティブのバランスを意識しましょう。「3:1」くらいの比率でほめる・叱る、くらいがちょうどいいと思います。

